



東日本大震災発生から 23 カ月 CIVIC FORCE の活動報告

写真：ハワイの企業から贈られたマスクをつけて作業する漁業関係者（宮城県気仙沼市）

福島の避難者へのサポートを再開

2011年3月11日の東日本大震災発生から1年と11カ月が経過しました。

震災後、急速に減った被災地の人口は戻りつつあると言われる一方、福島県の人口は減り続けています。復興庁によれば、福島第一原子力発電所事故の影響で県外へ避難している人の数は、57,377人（2013年1月時点）に上ります。

全国で最も多くの避難者を受け入れている山形県では、夫のみが福島に残って妻や子どもたちは山形に避難するなど両県での二重生活を強いられ、困難な生活を続けている方がいます。こうした深刻な事態は今後も長期化することが予想され、国や行政だけでなく民間からの柔軟なサポートが必要とされています。

そこで、Civic Forceでは、NPOパートナー協働事業として、山形で福島の避難者の受け入れ事業を展開している「生活クラブやまがた」へのサポートを再開しています。

生活クラブやまがた×Civic Force

生活クラブやまがたは、震災直後から県内の避難所施設への生活支援やボランティア受け入れなどの支援活動を続けてきました。

震災から約2年が経過しようとする現在も、家族が離散して生活を送ったり、経済的な負担や将来の不安が募ることで家庭内の問題が浮き彫りになるなど課題が深刻化しており、長期的な視点での支援が必要とされています。

そこで、国や行政の支援対象になりにくい、福島県からの自主避難者に対して支援を実施。具体的には、



住民から継続を求められている「お茶のみ会」、経済的負担の軽減や地元住民の交流を図る「10円バザー」、個々の悩みを聞く「相談窓口」の開設、災害から2年を迎える節目でのイベントの開催などを予定しているほか、避難者の現状や課題を抽出し支援の在り方を行政に提案するプログラムも展開しています。

インドネシア洪水被災者支援

インドネシアの首都ジャカルタでは、1月16日から続いた豪雨の影響で洪水が発生し、今も多くの方が避難生活を続けています。Civic Forceは、2012年10月に創設したアジアパシフィック アライアンスのメンバーとして、震災直後から現地で緊急支援を開始したインドネシアのNGO、PLANAS-Indonesia National Platform(インドネシア災害マネジメント協会)をサポートするため、インドネシア洪水支援の募金活動を実施しています。



■被災者を支える現地NGOを支援してください。

・三井住友銀行青山支店普通 7027403 公益社団法人 Civic Force(コウエキシャダンホウジンシビックフォース)

・クレジットカードからのご寄付はこちらから
<https://bokinchan2.com/civicforce/donation/bokin/page1.php>

詳細はホームページをご覧ください

→<http://www.civic-force.org/news/news-1057.php>

中長期的な復興を見据えて

Civic Force では、緊急時から約1年半にわたる支援活動の中で見えてきた被災地の課題解決に向けて、さらに腰を据えて取り組むため、2012年夏から「中長期復興支援事業」を続けています。各事業の進捗状況をご報告します。

■観光再生

宮城県気仙沼市が復興計画の重点事業として掲げる“観光”の戦略立案をサポートするため、内外の企業や行政が参加する観光戦略会議の基本方針案検討部会、コミュニケーション部会などに参加し、サポートを続けています。また、コンサルティング企業と連携して、三陸地方の観光資源の活用に関する調査を実施。地元金融機関や行政、企業が参画する「観光再生プラットフォーム（仮称）」立ち上げに向けた活動を進めています。

■再生可能エネルギー

木質バイオマスの利用を通じて持続的な社会の構築を目指すプログラムとして、2月、気仙沼地域エネルギー開発株式会社と「木質バイオマス原料供給側における間伐材および未利用材搬出システム構築」に関する事業を開始しました。Civic Force は、同社とともに個人林業者の育成や木材集積場の運営、地域通貨の試験的利用の面で協力しながら、事業を進めています。



■医療アクセス改善

震災以前から医療過疎が進む沿岸被災地で、救急医療搬送用ヘリを導入し、高度医療機関へのアクセス改善を目指すこのプログラムでは、4月の事業開始に向けて、現在、ヘリポートとして利用できる土地や医療関係者の体制などに関する調査を行っています。

■復興まちづくり

被災地で生まれた NPO や被災地行政と協力し、すでに集団移転を決めた地域で始まっている新しいまちづくりの動きをサポートしたり、これからまちづくりを進めていく地域において、専門家派遣や人材育成などのプログラム支援を行っています。

「NPO パートナー協働事業」進捗報告

2011年4月から開始した Civic Force の「NPO パートナー協働事業」では、現在、被災した人々が地域の復興に向けて主体的に取り組む事業をサポートしています。2013年2月現在、8件の事業を実施中です。新規事業として、生活クラブやまがたとの協働事業を開始しています（1ページ参照）。本事業は、各団体の経営体制や事業内容を外部専門家と精査した上で資金提供し、毎月の報告を受けるほか、外部専門家とともに現地に赴きモニタリングを実施しています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.civic-force.org/emergency/higashinihon/npo/>

■実施中の事業(2013年2月11日現在)

—第4期・第5期事業—

(中長期的な視点をもつ地域復興のための
コミュニティ支援、まちづくり支援事業)

■岩手県臨床心理士会×Civic Force

臨床心理士135人の会員で構成される岩手県臨床心理士会は、被災県における数少ない“職能集団”として、電話相談や病院職員への心理教育、仮設住宅での健康セミナーやお茶会などを通じた心のケア事業を展開し、被災者にとって心理的サポートの空白地帯を作らないよう日々活動しています。引き続き研修事業やサポート体制を充実させていく計画です。

■しんりん×Civic Force

木質ペレット燃料や国産材などの森林資源活用の推進を通じて持続可能な地域社会の創造を目指す NPO 法人「しんりん」は、1月26、27日と2月9、10日にキコリ講座を実施し、チェーンソーの使い方などの講習を行いました。また「南三陸さんさん商店街」など地域の商店と協力し、オリジナル地域通貨「モリ券」の運用を開始しました。



■からくわ丸×Civic Force

宮城県気仙沼市唐桑町で、住民が行政と連携しながら復興後のまちづくりに取り組むため、“まち

歩き”などの活動が続けるからくわ丸。冬季は、地域住民と内外の若者が一緒に郷戸料理をつくる“クッキングババ”やワークショップなど屋内での活動を中心に実施しました。

■気仙沼みらい計画大沢チーム×Civic Force

宮城県気仙沼市唐桑町大沢地区の集団移転事業や復興まちづくり計画をサポートする気仙沼みらい計画大沢チームは、「大沢みらい集会」を開き、街並みのルールづくりなどを実施しました。



■気仙沼大島まちづくりサポート×Civic Force

宮城県気仙沼市の有人離島「大島」の新しいまちづくりを目指す気仙沼大島まちづくりサポート。引き続き、県内外から複数のボランティアを受け入れ、地元の人々と協力しながら農家や漁業の手伝い、被災した住宅の片付け、催し物の開催などを行っています。



■スローフード気仙沼×Civic Force

昨年12月、気仙沼の歴史と文化、自然を一冊にまとめた『まるかじり気仙沼ガイドブック』の復刻版を完成させたスローフード気仙沼。現在は、その広報活動や別冊版の発行に向けて、フィールド調査などを実施しています。



■森は海の恋人×Civic Force

宮城県気仙沼市唐桑町を中心に環境教育、森づくり、自然環境保全の3分野で活動する森は海の恋人は、大学や企業などと協力し、引き続き気仙沼の海に関する調査の結果や海とともにあるまちづくりについて考える機会を提供する事業を行っています。



皆様の“声”を募集中！

Civic Force が東日本大震災支援を開始してから約23カ月。この間、法人や個人の皆様に多くのご意見をいただきながら、事業を展開してきました。そのなかで「東北の方々の声を聞きたい」といったご意見をいただくようになりました。また、被災地からは「全国の人からたくさんの支援を受け、お礼の気持ちを伝えたい」「東北を忘れないで」などの声が寄せられています。

そこで、皆様の声を双方向にお伝えするため、Civic Force に関わったことのあるすべての皆様からの“声”を募集しています。

①復興に向けて今、被災地で取り組んでいること②東北への応援メッセージ③その他 のいずれかについて、info@civic-force.org にメッセージをお送りください。

フィリピン台風一ご支援ありがとうございました

2012年12月4日にフィリピン南部ミンダナオ島を直撃した台風24号の影響で甚大な被害が出ていたフィリピンに対し、Civic Force は発災直後から被災地で活動を開始したフィリピンの NGO 「CDRC (Citizens' Disaster Response Center)」と連携し、フィリピンへの支援を行いました。

具体的には、12月7日から2013年1月21日まで募金活動を実施し、オンラインでの寄付を中心に10万9,000円をお預かりしました。皆様からのご寄付は、CDRC を通じて、未だ避難生活が続けるフィリピンの被災者の方々のために活用させていただきました。



Civic Force は、アジア5カ国の災害支援団体とともに昨年10月に立ち上げた「アジアパシフィックアライアンス」のメンバーとして、引き続き同組織のメンバーである CDRC と連絡を取り合い、情報収集を続けていきます。

なお、キャンペーン期間中(12月21日~1月20日)にご寄付をいただいた方には、フィリピンからのメッセージ入りハガキをお届けします(※住所をお知らせいただいている方に限りです)。

たくさんの方々からのご支援、本当にありがとうございました。

領収書のご請求はお早めに

今年も確定申告の時期が近づいてまいりました。Civic Force へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付として税制優遇の対象となります。個人寄付者の皆さまは、「税額控除」か「所得控除」のいずれかを選択し、寄付金控除を受けることが出来ます。寄付金控除を受けるには、確定申告を行い、Civic Force 発行の領収書を添付する必要がありますので、領収書を必要とされる方は HP 上の領収書請求フォームよりご請求ください。

■領収書請求フォーム

<https://www.civic-force.org/contact/receipt/>

■寄付金控除の詳細

<https://www.civic-force.org/contribution/support/#tax>

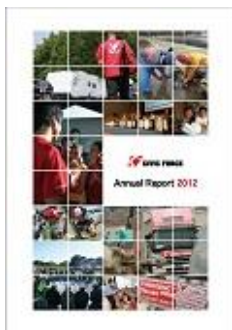
なお、Just Giving Japan (JG) 経由でご寄付いただいた皆さまにおかれましては、JG サイト上の「My ページ」から領収書をご請求ください。

「Civic Force の1年」が一目で分かる

日頃より Civic Force をご支援いただいている皆様へ、改めて心より御礼申し上げます。2012 年度 (2011 年 9 月～12 年 8 月末) の年次報告書を HP 上で公開しました。

<http://www.civic-force.org/news/news-1034.php>

なお、東日本大震災の支援企業様は以下のページでご紹介しています
<http://www.civic-force.org/emergency/higashinihon/supporter/>



「次への備え」は、企業の皆様とともに

Civic Force では現在、次の大規模災害発生に備え、平時からより多様な企業や団体との連携関係の構築に努めています。その活動の多くは法人賛助会員の皆様に支えられています。引き続き多くの企業様の参加をお待ちしています。詳細は HP <http://www.civic-force.org/about/membership/> をご参照ください。なお、現在のパートナー企業様は以下にてご紹介しています。

<http://www.civic-force.org/about/partner/>

1日33円からできること

Civic Force は、現在、次の大規模災害に向けた準備を始めていますが、平時から備えておくために、皆様の力が必要です。マンスリーサポーターとして、毎月定額 (1,000 円単位) をご寄付いただく形で、大規模災害への備えに必要な活動に参加してください。

平時の活動へのご支援は下記口座で受け付けています。

■銀行：三井住友銀行 青山支店 普通 6953964

■ゆうちょ：00140-6-361805

(上記いずれも口座名義は「コウエキシャタンホウジン シビックフォース」です)

■クレジットカード：HP「オンライン募金」をクリックしてください。

https://bokinchan2.com/civicforce/donation/bokin/page1.php?bokin_type=donation

1日1回クリックするだけ

「クリック募金」は、一般的な募金と違い、募金する人が金銭を提供する必要がなく、「クリック一つ」で募金できる仕組みです。皆様のご協力をお願いいたします。

<http://www.clickbokin.ekokoro.jp/139.html>

<http://www.psc-inc.co.jp/clickdonation/index.html>

メールマガジン「被災地の今を知る」について

Civic Force が国内外で展開中の事業についてお知らせするメールマガジン「被災地の今を知る」を、週1回、発行しています。被災地の様子や復興を担う人々の声、Civic Force の活動状況などに関する内容をお届けしています。ぜひメールアドレスをご登録ください。

<http://www.civic-force.org/mailmag/>

※毎月11日前後に発行しているマンスリー・レポートは、
<http://civic-force.org/news/monthly/> からご覧いただけます。

ソーシャルメディアでも発信しています



<http://twitter.com/#!/civicforce>



<http://www.facebook.com/civicforce>



<http://www.youtube.com/user/civicforceorg>

